



## 2) 中等教育の日本語教育を捉える:教育の視座

「教育としての日本語」

- ❖ 各国の教育政策の影響を受ける  
中等教育の日本語
- ❖ 日本語は国際言語の一つとして、  
第1・第2外国語として導入されている。
- ❖ 21世紀のグローバル社会に対応する教育改革が  
世界各国で進行中

5

## 3) 21世紀に対応する新たな資質・能力観

### ❖ キー・コンピテンシー

Key Competencies

OECDのプロジェクト(1999-2003)

### ❖ 21世紀型スキル

21<sup>st</sup> Century Skills

米国の教育改革(2002-)

国際的研究プロジェクト(2003-)

6

## 2. 調査概要 —調査の目的—

中等教育段階で日本語が公式に導入されている東南アジア地域の5か国を対象とし、中等教育の教育政策に関する公的文書59点を収集。その内、教育方針や学習目標に触れている17点を翻訳・分析。

- (1) 各国の教育制度における中等教育の教育方針・教育理念を概観し、その中で外国語科目にどのような目標が掲げられているのかを把握する。
- (2) 5か国の中等教育段階における日本語教育についての資料をまとめ、広く発信する。

7

## 2. 調査概要 —調査の流れ—

- 第1段階 文献収集と翻訳 (2013年7月～2014年3月)
- 第2段階 文献購読と分析 (2014年4月～12月)

＜分析の観点＞ (勝野2014)

- ①教育一般及び外国語教育政策の特徴
- ②社会及び文化的背景
- ③教育理念と教育目標(育てたい人間像)
- ④学習目標(重視して育てたい特徴的資質・能力)
- ⑤外国語(日本語)科目の目標
- ⑥教育アプローチ・カリキュラムと評価

- 第3段階 報告書の作成 (2014年12月～2015年9月)

8

### 3. 分析・考察

- 3.1 各国の調査結果の概要
- 3.2 東南アジア5か国に共通する  
キー・コンピテンシーと21世紀型スキルの影響
- 3.3 東南アジアの多様性を物語る  
各国固有の教育・文化・社会状況
- 3.4 外国語教育に期待されること

## インドネシア

国名	機関数(校)	学習者数(人)
インドネシア	2,049	835,938
タイ	325	88,325
マレーシア	110	17,034
ベトナム	28	5,496
フィリピン	27	5,382

- ・「パンチャシラ」
- ・「2013年カリキュラム」

コア・コンピテンス:各学年ごとに科目共通で目指す包括的な能力

＜精神的態度、社会的態度、知識、技能＞

基礎コンピテンス:科目ごとの具体的な能力

＜態度・知識・技能＞

- ・「科学的アプローチ」
- ・5段階のアプローチ
- ・「仮説→検証」の力を伸ばすことを目的とする

## 科学的アプローチの学習プロセス

学習手順	学習活動	開発されるコンピテンス
観察	読む、聞く、聞き取る、見る	態度(真剣・丁寧)、情報収集力
質問	観察で理解できないことを質問する、 または追加情報を得るために質問する	創造性、探究心、批判的思考力、 質問能力
情報収集 実験	実験を行う、教科書以外の資料を読む、 対象・事象・活動の情報源となる人にイン タビューする	態度(丁寧・正直・礼儀正しい)、 他者の意見の尊重、コミュニケーション 能力、情報収集能力、生涯学習につな がる学習習慣・能力
関連付け 情報処理	集めた情報を処理する (より広く深く情報を収集する、異なる意 見・対立する意見など様々な情報から解 決策を探し出すなど)	態度(正直・丁寧・まじめ)、規律、 努力、手順適用能力、帰納的思考・演 繹的思考により結論を出す能力
コミュニケ ーション	分析に基づいた観察結果・結論を 口頭・文書・その他の媒体で伝える	態度(正直・丁寧・寛容)、体系的思考、 簡潔に意見を表明し、適切で正確な言 葉を使用する能力

## タイ

・「足るを知る経済」

・5つの素養

コミュニケーション能力  
思考能力  
問題解決能力  
生活スキル応用能力  
技術応用能力

・2008年「基礎教育コアカリキュラム」

・2010年「World Class Standard School (WCSS)」設置  
45校(2010年)→増加中

国名	機関数(校)	学習者数(人)
インドネシア	2,049	835,938
タイ	325	88,325
マレーシア	110	17,034
ベトナム	28	5,496
フィリピン	27	5,382

13

## World Class Standard School (WCSS)

・国際水準の資質・能力養成のための先進的な試みを実施

・分析的・科学的思考力やICT利用, 社会奉仕の精神の養成

・外国語教育を重視 → 日本語教育実施校が増加  
日本語学習者数の増加

14

## フィリピン

・多言語国家

・中等教育段階の日本語教育は2009年開始

・2011年～基礎教育改革(通称:K to 12)実施

(1) 基礎教育10年制 → 12年制へ以降

2016年9月より、シニアハイスクール(2年)開始

(2) フィリピン語と英語によるバイリンガル教育

→ 小学校3年生までの母語・地域言語による教育

・就業率の増加→国家経済の発展へ

国名	機関数(校)	学習者数(人)
インドネシア	2,049	835,938
タイ	325	88,325
マレーシア	110	17,034
ベトナム	28	5,496
フィリピン	27	5,382

15

## K to 12の教育理念及び目標

### 教育理念:

1. 生涯学習のための基礎力
2. 仕事に従事できる力
3. 地域社会及びグローバル社会において協調して共生できる力
4. 自主的で創造的で批判的な思考力
5. 自分自身や他者を変えていく意志力

### 育成すべき具体的な資質・能力

心身一体的な成長を遂げた21世紀を生き抜く力を持ったフィリピンの生徒

1. 学習能力とイノベーション力
2. 情報力とメディア・情報駆使能力
3. コミュニケーション能力
4. ライフスキルと職業能力

16

## ベトナム

国名	機関数(校)	学習者数(人)
インドネシア	2,049	835,938
タイ	325	88,325
マレーシア	110	17,034
ベトナム	28	5,496
フィリピン	27	5,382

- ・中等教育段階の日本語教育は2003年に開始

導入語: 英語、中国語、ロシア語、フランス語、日本語、ドイツ語

形態: 第一外国語、第二外国語

- ・外国語教育強化政策の実施

「2008-2020年国民教育システムにおける外国語教育」  
(プロジェクト2020)

小学校からの外国語教育導入を決定

17

## ベトナムの教育概況

- ・ **外国語重視の背景: 国家建設**

- (1) 外国語は国際市場に参入し、発展していくための有効なツール
- (2) 近代化・工業化の迅速な推進には若年層の外国語能力向上が不可欠
- (3) 他文化の環境でも意思疎通できる外国語能力を有する人材の増加は、全世界に有益な共通戦略の発展基盤となる

- ・ **「プロジェクト2020」の概要**

- ・ 小学校からの外国語教育開始
- ・ 外国語教師の質・人数の向上
- ・ 能力の枠組みにヨーロッパ語学検定協会(ALTE)のものを採用

- ・ **ソフトスキル**: 今後、政策に盛り込まれる計画の育成すべき資質・能力

- ① 対人関係に関するもの
- ② ソーシャルスキル・コミュニケーションスキル
- ③ コンピテンシー

18

## マレーシア

国名	機関数(校)	学習者数(人)
インドネシア	2,049	835,938
タイ	325	88,325
マレーシア	110	17,034
ベトナム	28	5,496
フィリピン	27	5,382

- ・ 多民族国家マレーシアとしての団結
- ・ 1970年起草 「5つの国是(Rukun Negara)」
- ・ 1988年起草1996年改訂 「国家教育思想」
- ・ 2012年 「国家教育計画2013-2025」

19

## 国家教育計画2013-2025

- ・ **国際競争力を持つ生徒となるために必要な6つの資質・能力**

- (1) 知識
- (2) 考える力
- (3) リーダーシップ能力
- (4) バイリンガル能力: 必修 マレーシア語・英語 + 追加の言語  
(①国内コミュニティ言語 ②宗教言語 ③国際言語)
- (5) 倫理・精神性
- (6) 国民意識: グローバルな地球市民であることの意識も含む

- ・ 課題解決型・プロジェクト遂行型の活動を推奨
- ・ ICTの活用: ビデオによる授業配信など
- ・ 学校で行われる学力調査も高次思考を伴うものに移行目指す

20

## 3.2 東南アジア5か国に共通する キー・コンピテンシーと21世紀型スキルの影響

- 21世紀のグローバル社会を生き抜くための国家イメージ。  
⇒若い世代への教育の重要性
- 「21世紀型スキル」と「キー・コンピテンシー」に通じる資質・能力観。

批判的思考  
問題解決能力  
コミュニケーション能力  
ICT活用能力

21

## 3.3 東南アジアの多様性を物語る 各国固有の教育, 文化, 社会状況

各国に固有の歴史、宗教、文化、社会、経済環境への言及。

- インドネシア: パンチャシラ
- タイ: 国王の哲学
- マレーシア: 国家教育思想
- フィリピン: 国民個々の成長と就業→社会経済の発展
- ベトナム: 国家建設のための教育改革

国民統合のための  
アイデンティティの共有

22

## 3.4 外国語教育に期待されること

### 国際競争力を持つ生徒の育成

- 国際競争力のための「バイリンガル能力」: 国家団結のためのマレーシア語と英語、英語以外の言語学習を奨励(マレーシア)
- 文化的・言語的に世界中の多様な就業の場で活躍できる力の育成(フィリピン)
- 外国語教育・学習の強化が国際市場に参入し、さらに国が発展していくために必要(ベトナム)

### 態度・資質・能力の育成

- 国際社会でコミュニケーションや人間関係を深め、世界の知識に触れ、国際的課題に取り組めるようにするために外国語は不可欠なツール(タイ)
- 21世紀のグローバル化時代に対応するため、早い時期から世界の言語と文化に触れさせることが重要(インドネシア)

23

## 4. 今後に向けて: 21世紀の人材育成と外国語教育

言語の知識や技能の獲得に重点を置いた教育

どのような人を育てていくのかという視点を持ち、  
新たな資質・能力の育成をも視野に入れた教育

### 東南アジアの日本語教育支援に求められるもの

- 新しい資質・能力観を踏まえた授業モデルや教材、評価モデルの作成  
例) インドネシア: 教科書開発
- 国を超えた日本語教育のモデルの協働的開発  
例) タイ: Project Based Learning (PBL) を用いた国際キャンプの実施

24